

～明倫小学校～

地域に学び 地域に育つ 明倫っ子



【「三区対抗綱引き」の勝者と全校児童との一本勝負！】

9月11日（土）に第2回明倫地区合同体育大会を行いました。

地域と合同で体育大会を実施することについては、平成20年度の地域学校協議会で提案され、「明倫地区住民の交流を深めるとともに健康増進を図り、地域活性化に寄与する」を目的として昨年度より実施しています。

第2回となる今年度も5月から実行委員会を重ね、大会当日を迎えました。

当日は、9月の猛暑でしたが、テント張りなどをたくさんの区民の方々が協力してくださり、開会前から士気が高まりました。競技が始まると、三区のテントから声援や歓声が沸き上がり、応援する人も競技する人も一緒になって体育大会ならではの雰囲気を楽しめることができました。特に前回好評だった子ども達と幅広い年齢層で行う「水運びリレー」をはじめ、「ジャンケン玉入れ」や「玉入れ」、各種リレーは盛り上がりしました。

今回新たな試みとして、三区対抗綱引きで優勝した大人チームと子ども達との綱引きを実施。さすが優勝チーム、子ども達に余裕勝ちだった光景もほほえましかったです。



【幅広い年齢層で「水運びリレー」】



【継続してる「伝統芸能体験活動（おはやし）」】

また、「地域と一緒にの体育大会は楽しいなあ。」「こんな事がありゃこそ学校へ来ることができる。」などの声を聞くことができ、地区合同体育大会ならこそと、ありがたく感じました。

会場には三区の協力により「かき氷店」が開店。猛暑を吹き飛ばす涼風が吹きました。

この合同体育大会の他、特色ある活動として6月には、地域の方々に「おはやし先生」として迎え「伝統芸能体験活動（おはやし）」を継続しています。

「地域に学び地域に育つ明倫っ子」、明倫小学校の子ども達は地域とのあたたかな連携の中で育ち合っています。

元気あふれるスタッフ募集中！



若狭町社協では、地域福祉・ケアマネ・介護・看護現場と一緒に楽しく働いていただけるスタッフを募集しています。詳しい募集内容については、下記ご連絡先までお問合せ下さい。

若狭町社会福祉協議会 法人本部
TEL：0770-62-9005

わかさ 社協だより

Vol. 17

2010年
10月22日発行



特集 「ボランティアの日」が開催されました
赤い羽根共同募金が始まりました



「ボランティアの日」

若狭町社会福祉協議会では、昨年度より9月最終日曜日をボランティアの日と位置付け、ボランティアの普及推進を行っています。今年も9月26日（日）に、三方青年の家を会場にエコキャップ回収運動や傾聴ボランティア講座、ヤングボランティア体験等のイベントを開催しました。

集める

当日、会場でエコキャップ回収運動を実施しました。昨年に引き続き実施したこの運動では、2年目ということもあり、たくさんの方々にエコキャップを持って会場に足を運んでいただきました。



個人以外にも、企業や団体、学校等にもご協力いただき最終的に集まった数は昨年の約3倍。

なんと
230,868個も集まりました



運搬用に準備した軽トラもこの通り…

この運動で集まったエコキャップは後日、ふくいエコキャップ運動委員会へ寄付し、世界の子供たちにワクチンを届けます。

この運動にご協力いただいた各企業団体、学校等については下記のとおりです。他にもたくさんの個人のみなさまに持参いただきました。

日本電気硝子(株)・(株)ミヤギ・(株)光洋・大阪プラント(株)・(株)PLANT-2 上中店・(株)福梅・(株)若狭松葉・わかさカントリー倶楽部・千葉医院・老人保健施設ゆなみ・特別養護老人ホーム松寿苑・嶺南病院・中村歯科医院・上中病院・わかさ東商会・JA三方五湖・JAわかさ・三方ショッピングセンターレビア・加藤医院・レイクヒルズ美方病院・みそみ小学校・明倫小学校・三方小学校・気山小学校・梅の里小学校・岬小学校・鳥羽小学校・瓜生小学校・熊川小学校・三宅小学校・野木小学校・三方中学校・三方中学校岬分校・上中中学校・三方庁舎・上中庁舎・三方青年の家

※社協事業所や、各協力団体でのエコキャップ回収運動へもご協力いただきありがとうございました。

学ぶ

午前中、傾聴ボランティア講座が行われ23名の方がボランティア活動や日常生活で役立つ「会話」を効果的に聴くコツを学びました。参加された方からは「すぐためになりました」「今後心がけていきたい」等の感想をいただきました。



ボランティアについて楽しく教えていただいた 福井県社協：高田 勝之 さん



講演していただいた
臨床心理士：別司 ちさと さん



熱心にお話を聞いていただきました

午後からは、ヤングボランティア体験が小学生親子を対象に行われ、49名の方がボランティア活動とはどのような活動を行うのかや、ボランティア活動に必要な心構えなどを楽しく学びました。

体験

その後、ゆなみ・五湖の郷の各福祉施設に移動して実際にボランティア活動を体験していただきました。ゆなみでは、車イスの使い方を学んだ後、実際に車イスの方の移動を手伝ったり、お年寄りとお話したりしました。五湖の郷では、お年寄りと一緒に貼り絵づくりをしながら交流しました。



利用者と楽しく制作しました



利用者と相談しながら貼っていきました

楽しむ

福祉施設でのボランティア体験の後は、みんなでアイスクリームづくりに挑戦しました。

アイスクリームを手作りするのは初めての方がほとんどで、たのしく、美味しく体験できました。また、他の学校の子との交流の機会にもなったようです。



⑥15分転がします…



①分量を量って



②みんなで協力！



③材料を混ぜます



④こぼさないようにアルミ缶に移して…



⑤ミルク缶にアルミ缶と氷・塩を入れて…



⑦広い場所を求めて廊下まで進出…



⑧おいしいアイスクリームの出来上がり！



じぶんの町を良くするしくみ。 赤い羽根共同募金

今年も10月1日から12月31日までの3ヶ月間、「赤い羽根共同募金運動」が全国一斉に始まりました。

みなさんのあたたかい心がこめられた募金は、お年寄りや体の不自由な人、子供たちなどのために役立てられます。また、地域で安心して暮らすための福祉のまちづくり活動等に役立てられています。

街頭募金運動を実施しました

10月1日に町内2ヶ所で「街頭募金運動」を実施しました。

当日は募金活動のボランティアとして、上中中学校と三方中学校の生徒のみなさんに協力いただきました。

最初は、恥ずかしくてなかなか声が出せなかった生徒さんも、段々と大きな声が出せるようになり、元気よく笑顔で街頭募金運動をしてくれました。

終了後、生徒の皆さんからは「はじめは出来るか不安でした。でも募金をしてくれる人がたくさんいてとてもうれしかったです。」「募金に協力してもらって側から見ていたいろんなことが分かりました。どうしたら協力してもらえるかを工夫しながらやっているとすごく

楽しかったです。笑顔で募金されるとすごく気持ちよかったです!」「今日、募金活動に参加させていただけてよかったと思います。たくさんの方が募金してくださって、とても感動しました。困っている人のために、私も出来ることはがんばりたいと思いました。今日はありがとうございました。」などの感想がよせられました。

協力していただいた生徒のみなさん、ありがとうございました。



田中麻里彩さん
宮本 果保さん
谷口 琴音さん



清水紗也佳さん
中川 晴菜さん
小野 聖奈さん
熊谷 舞香さん

今年度みなさまから寄せられた募金を活用して

■以下のような事業を実施する計画です。

募金目標額（若狭町）	助成計画	
4,900,000円	H22年度歳末たすけあい事業費	1,700,000円
	事 こ ん に な	障がい者交流会事業（ふれあいの集い） 障がい児激励事業（クリスマス会）、独居老人交流会事業 要援護者への歳末生花贈呈事業、介護者交流事業 など
	H23年度地域福祉事業助成	2,464,000円
	事 こ ん に な	小地域福祉活動推進事業（モデル集落への助成、セミナー） 福祉団体等活動支援事業（集落、グループ、団体等への助成） 児童育成、福祉教育支援事業（学校、保育施設への助成） など
	広域助成金（福井県共募へ）	736,000円

地域を良くするプロジェクト

募集します！

■H23年度 共同募金助成金申請のご案内

私たちの地域を少しでも良くしようとがんばっている団体やグループ等が実施する事業に対して助成します。

○助成金の交付対象となる団体

若狭町内で活動する、ボランティアグループ・福祉団体・サロン団体・NPO団体・集落、小中学校、高等学校等の非営利の団体

こういった事業が対象となります

●若狭町内で地域や社会を良くするための事業

こういった事業は対象となりません

●政治・宗教・組合等の運動の手段として行う事業や営利のために行う事業
●福祉を目的としない事業
●その他、不適合と共同募金審査会が認める事業

○募集期間

平成22年11月1日（月）～12月10日（金）

○助成金の交付額

●団体支援事業(継続的)	広域で活動する福祉団体	1団体	上限 5万円
●団体支援事業(発展的)	集落、福祉団体、サロン団体、NPO団体	1団体	上限10万円
●福祉教育支援事業	小・中・高等学校	1校	上限 5万円
●児童育成支援事業	保育施設等	1か所	上限10万円

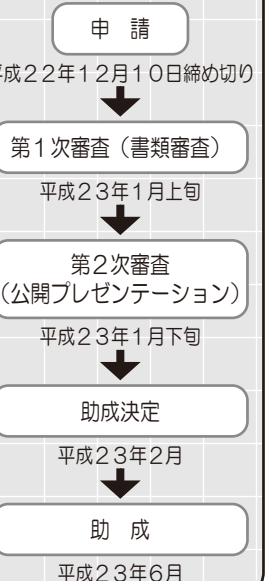
○助成対象条件

- ユニークで発展性・継続性のある事業。
- 新たに開拓する事業を優先します。
- 事業を実施する場合「若狭町共同募金委員会の助成を受けて、この事業を実施しています」とパンフレット・備品等に表記して下さい。

○審査方法

- 若狭町共同募金審査委員会において決定します。
- 申請額5万円以上の各団体には、寄付者への理解を促進するため、公開審査（プレゼンテーション）で発表をお願いします。

～助成までの流れ～



お問い合わせ・申請書については、若狭町共同募金委員会・若狭町社会福祉協議会まで
TEL0770-45-2837 FAX0770-45-1313

パレア 夏祭り

パレア若狭事業所の開所以来、毎年の恒例行事として定着してきましたパレア夏祭りが、今年も8月26日から28日の3日間サービスセンターパレア若狭で行われ、盛り上がりを見せました。

地域のボランティアさんのおかげさまを持ちまして年々たくさんの方がおいでくださり、今年は、3日間日替わりで6団体の皆さんに多彩な発表をご披露いただき、大変盛り上がりしました。

26日は小浜ガールズの皆さんによるフラダンスの発表（15名様）踊りはもちろん素敵な衣装もステージに映えました。また小浜宮川地区の有志の方（4名様）の、それはそれはユニークなスコップ三味線のご披露。

毎年趣向を変えての紅花会の方（14名様）の発表もありました。



紅花会



シテナ伝承会

27日はシテナ伝承会の皆さん大勢（17名様）によるシテナ踊りの発表がありました。そして、ビハーラ若狭さん（10名様）による、楽しいトークと歌のステージ、また手作りプレゼントもいただきました。

28日は北原教室の皆さん（10名様）の舞踊のご披露でした。また、今年は初めての試みで、ご利用いただいている利用者さまに向け、日頃の感謝の気持ちとして職員全員による出しものの発表をしました。

祭り期間中は、お楽しみ抽選会でプレゼントが当たったり、ジュースとわたがしのおやつが振舞われ、皆さんから「甘くて美味しい」と声が上がっていました。

利用者の皆さんにとって素敵なステージの催しは、目に焼きつき、よい思い出となる夏祭りのひとときになりました。

ご協力いただきました、たくさんのボランティアの皆さんのやさしさと思いやりに厚くお礼申し上げます。ありがとうございました。

ビハーラ若狭
手作りの金魚すくい



スコップ三味線



北原教室



小浜ガールズ



五湖の郷 秋祭り

10月9日に五湖の郷で「秋祭り」を開催しました。当日は「わかさアーイナ」さんのフラダンスに目を奪われ、「名田庄太鼓保存会勇粋連」さんの勇壮な響きに耳を傾けました。

「わかさアーイナ」さんは、3年前から活動される、三方地区の多種多様な職業を持つ女性20名のグループです。アーイナとはハワイ語で「大地」という意味です。踊りが好き・人が好き・おしゃべりが好きな人たちの集まりで、笑顔でみんなと一緒に楽しむ事が最高の喜びと語っておられました。今までは、会社の祭りや敬老会に参加されておられました。

「名田庄太鼓保存会勇粋連」さんは、名田庄を拠点とした今年20周年を迎える24名のグループです。伝統的な「名田庄太鼓」の伝承にとどまらず、若者の感性を加えた創作的な太鼓もしていますとお話されていました。

また、ヨーヨー釣りやストラックアウト、バザーや



わかさアーイナ



名田庄太鼓保存会勇粋連

カラオケといったアトラクションで盛り上がりました。さらに、秋吉さん・オズさん・エフエフ若狭さんが屋台を出店し、参加者もおいしそうに食べられました。

さらに泉レンジャーが参上し、共同募金の広報活動を行いました。

来年もこの秋祭りが、ボランティアさんに支えられ、利用者さんにご家族に少しでも喜んで頂き、そして地域の皆さんとの出会いと交流の場となるようにしていきたいと思います。



実習生へのインタビュー

佛教大学 社会福祉学部
社会福祉学科 4回生
小川 智代
(若狭町長江)



社会福祉士の実習という事で若狭町社会福祉協議会に二十四日間お世話になりました。高齢者領域での実習は初めてで戸惑

いや不安もありましたが、職員の皆様の丁寧なご指導と利用者さんの温かい笑顔に接することで、夢中に過ごすうちに不安もなくなりました。

デイサービスセンター、特別養護老人ホーム、訪問介護、障がい分野の現場に入らせていただくことで、それぞれ固有の支援方法からメリット・デメリットの比較と、利用者さん一人ひとりのニーズの違いが把握できました。同時に「受容」「共感」「総合的な理解」はすべての利用者さんに共通するニーズであり、そこから一人ひとりの生活史や性格を踏まえたニーズの把握が必要であることも分かりました。

職員の方々から、全てがコミュニケーションの場であること、また話すことだけでなく、肌に触れる・視線を合わせることも大事なコミュニケーションであることを学びました。手を握り返してくださる、視線が合い微笑んでくださる、そのことが介護する側の気持ちを落ち着かせてくれるものだと実践の中で感じました。

実習中に利用者さんの口から頻りに聞かれたのが「おおきん」「もったいない」「おかげさま」という言葉でした。温かい地元の言葉に私自身が何度も救われるとともに、「感謝の気持ち」「地域性」を教わり、若狭町で生まれ育った喜びと感謝を思うことが出来ました。若狭町は少子高齢化・過疎化が深刻に進んでいます。若狭町の「人」「土地」「自然」「歴史」というかけがえない財産は、社会福祉協議会と地域住民・地域組織・ボランティアの連携により守られ続けています。私も一人の若狭町住民、福祉を学ぶ者として「地域で生きる」ことを学び続けると共に、時代の変化に対応すべきところ・逆らうべきところを見極め、声をあげていけるように精進していきたいと思いました。



エコキャップアートに初挑戦！

7月22日から8月23日までの間、瓜生公民館で行われていた障がい児サマースクールの活動の中で、障がいを持つ子どもたちでつくる「エンゼルの会」のメンバーが飲料ペットボトルのふた「エコキャップ」を使ってアートづくりに挑戦しました。

このエコキャップアートは福井県社会福祉協議会から依頼を受けたもので、サマースクールの期間中のべ89人が制作に協力してくれました。

まず、地域の皆さんがパレアやいすみ、五湖の郷事業所に持ち込んでくださった「エコキャップ」のうち約20,000個の中からアートに必要な色のキャップの選別作業を始めました。選別ができると、たて180cm、横90cmのパネルに下絵を描き、エコキャップを1個ずつ丁寧に貼り付けていきました。

1,704個のキャップを使った見事なエコキャップアートが仕上がりました。

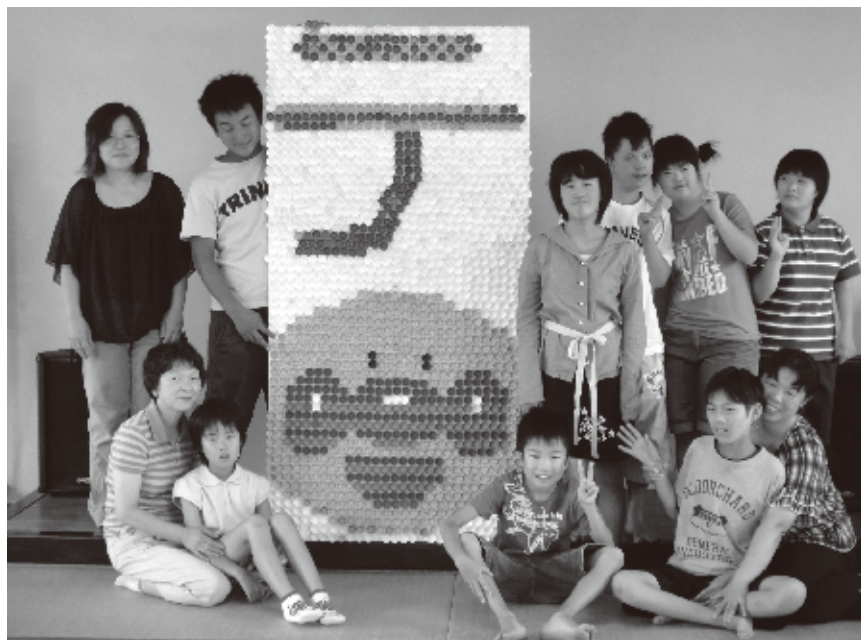
1個ずつ貼り付けるという地道な作業で、「もうこんな大変やしいやや」と言いだした子どももありましたが、少しずつ絵が出来上がっていき、「ここは僕が貼る」「もっと丁寧に貼ろう」と作業にも力が入り、楽しさに変わっていききました。

子どもたちは「1個ずつ貼り付けるのが大変やったけど、みんなで作れてよかった」「めっちゃよ

うできたー」「色使いがものすごくきれいにできた」とアンパンマンの出来に満足していました。

キャップを持ち込んでくださった方はエコキャップがワクチンに活かされることでボランティアを意識し、アートに関わった人は共同作業で達成感を感じるなど、有意義な活動となりました。

ご協力いただいたみなさんありがとうございました。



作品：アンパンマンだ!! (エンゼルの会で仕上げたアート)

18枚が合体し1つのアートになりました！

仕上がったアートは、9月23日にフェニックスプラザで開催された福井県社会福祉協議会主催の“ふくいつながりフォーラム2010”へつながれ！80万人のボランティアの輪～に持ち込まれ、県内17市町と県社協に分けて、たくさんの方々が取り組んだ成果がこの会場で特大アートとして披露されました。



フェニックスプラザで披露しました



3分でわかる介護



Vol.1

3分でわかる介護は、できるだけ家庭での介護負担を軽減できればと思いシリーズ化しています。

食べやすい食事にするための工夫

食べやすい＝「口当たりがよくやわらかい」「噛み切りやすい」「飲み込みやすい」です。

そしゃく 咀嚼が困難な人は、十分に噛まないまま飲み込むと、消化不良を起こして病気になる心配があります。食べやすく小さく刻むなどの工夫が必要です。

えんげ 嚥下困難な人は、食べ物が気管に入ってしまう危険性があります。とろみをつけたり、ミキサーで流動的にして、のどの通りをよくする調理工夫が必要です。各自の状態に合わせた調理を心がけましょう。

咀嚼とは・・・食べ物を噛み砕き、唾液と混ぜて飲み込みやすいかたまりに整える運動のこと。
嚥下とは・・・口の中の物を飲み下すこと。飲み込むこと。

知っ得

おかゆの種類

日本人の食事において、米は欠かすことのできない食物です。しかし、そしゃく 咀嚼が困難な場合には、通常に炊いた米を食べることができません。

むせないためには、流動性があるのどの通りの良いものが適しています。

かための全がゆから、おもゆ風の三分がゆまで、各自の状態に応じて作り分けると良いでしょう。



他の食べやすい食事

(刻み食)・・・5mm角から一口大までに切ります
(ミキサー食)・・・やわらかく煮た物をミキサーにかけて流動状にします。

(とろみ食)・・・汁物、刻み食、ミキサー食などをデンプン、ゼラチン、くすなどを使ってトロミをつけます。



※市販の食品で、簡単にとろみをつけられるようなものがさまざま出ています。

米からつくるおかゆの水分量

名称	米の量	水の量	状態
全がゆ	カップ 1	カップ 5	ねっとりとして硬め
七分がゆ	カップ 1	カップ 7	さらりとして味の変化をつけやすい
五分がゆ	カップ 1/2	カップ 5	かなり汁けが多い
三分がゆ	カップ 1/2	カップ 10	おもゆ状で、飲むという感じ

※ 米カップ1=160g

水カップ1=200ml

なるほど ～一緒に食べて美味しい介護食レシピ紹介～



たらのかぶら蒸し

材料：1人分分量

たら 60g
塩・酒 少々
かぶら 60g
卵白 10g
塩 0.5g
みつば 3g
しめじ 10g
酒 1cc
しょうゆ 3cc
みりん 3cc
だし汁 40cc
塩 0.5g
片栗粉 2g

① たらは、塩・酒をかけておく。

② かぶらはおろして水気をきり、卵白・塩をまぜる。

③ たらを器にいれかぶをかけ、しめじ・みつばを飾り、蒸し器で7～8分蒸す。

④ だし汁を調味し、水溶き片栗粉でとろみをつけて③にそそぐ。

たらは12月～2月頃が旬で、雪の降るころからおいしさが増します。かぶは秋の終わりから冬にかけてがおいしい野菜です。ぜひ一度お試しください。

■地上デジタル放送受診チューナーの無償給付等の支援について

経済的な理由等で地上デジタル放送がまだ受診できない世帯に対して「簡易なチューナーの無償給付」などの支援を行います。

■支援の内容

(1) 簡易なチューナー（1台）の無償給付、訪問設置 (2) アンテナ工事が必要な場合の無償工事

■支援の対象者

以下の世帯の中でNHKの放送受信料が全額免除となっている世帯です

- (1) 生活保護などの公的扶助を受けている世帯
- (2) 障がい者がいる世帯でかつ世帯全員が市町村民非課税の措置を受けている世帯
- (3) 社会福祉事業施設に入居し、自らテレビを持ち込んでいる世帯

■申し込み・お問い合わせ先

●総務省 地デジチューナー支援実施センター (平日：午前9時～午後9時、土日祝日：午前9時～午後6時)
電話：(0570) 033840 FAX (044) 966-8719 <http://www.chidejishien.jp>

■NHK放送受信料全額免除に関するお問い合わせ先

●HNK視聴者コールセンター (平日：午前9時～午後9時、土日祝日：午前9時～午後6時)
電話：(0570) 000588 FAX (044) 888-4340 <http://www.nhk.or.jp/jushinryo/>

総務省からの
お知らせ

■楽・らく介護講座のご案内

主催：(福) 福井県社会福祉協議会

■「介護の日」オープン介護講座

11月11日は「介護の日」介護の仕事に就いている人・いない人、介護が必要な家族がいる人・いない人…。あなたも「介護」に触れてみませんか？
平成22年11月6日(土) 10:00～12:00 福祉用具体験 平成22年11月7日(日) 10:00～12:00 介護実技体験
13:00～15:00 介護実技体験 (体の起こし方等)
(車椅子の介助の仕方等) 13:00～15:00 介護実技体験 (着替えの仕方等)
会場：嶺南地域福祉相談・介護実習普及センター
★参加費：無料 ★申込方法：予約不要



■「体の起こし方と車イス介助」

～腰痛にならない移動・移乗の方法～
寝返り、起き上がり、立ち座りなどの移動介助のコツ、ベットから車イス間の移乗の方法など、日常的に必要な動作について学びましょう。
平成22年11月25日(木) 13:00～15:30
会場：パレア若狭(若狭町市場18-18)



■「認知症高齢者のお世話の仕方」

●認知症サポーター養成講座●
認知症は誰にでもおこりうる身近な病気です。正しい知識を持って、誰もが穏やかに暮らせる関わり方を学びましょう。
平成22年12月3日(金) 13:30～16:00
会場：美浜町保健福祉センターはあとぴあ(美浜町郷市25-20)



■「気持ちのよい排泄のお世話」

「しもの世話」は、する側もされる側も心を痛めるお世話です。オムツの種類や上手な当て方など、さりげなく行えるコツを学びましょう。
平成22年12月4日(土) 13:30～16:00
会場：嶺南地域福祉相談・介護実習普及センター



★参加費：無料 ★定員：各20名(申込多数の場合は先着順としますので、お断りする場合があります) ★申込期限：各講座開催日の3日前まで
★申込方法：氏名・電話番号・希望講座を嶺南地域福祉相談・介護実習普及センターまで、電話・FAXにてお申込下さい。

【お問い合わせ・申込先】 嶺南地域福祉相談・介護実習普及センター 〒917-0069 福井県小浜市白鬚112つばき回廊業務棟3F
TEL 0770-52-7832 FAX 0770-52-7834

嶺南著名作家による赤い羽根共同募金チャリティ

■アートでハート展

10月8日(金)～10月24日(日)

場 所：パレア若狭ギャラリー

時 間：10:00～20:00(火曜日休館)

※10月10日(日)パレア若狭臨時休館日

嶺南地方ゆかりの31名
45点の作品を展示！

出展された著名作家の作品は入札方式で購入する事ができます。
その収益金は、全額、共同募金の寄付金へ企てられ、地域福祉の推進に役立てられます。



福祉と文化の祭典

～つながれ ひろがれ やさしいまち～

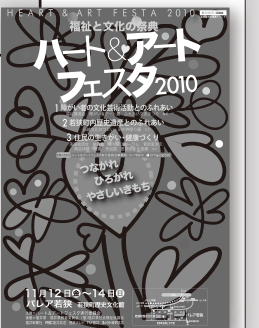
■ハート&アートフェスタ2010

11月12日(金)～11月14日(日)

場 所：パレア若狭 若狭町歴史文化館

1. 障がい者の文化芸術活動とのふれあい
2. 若狭町内歴史資産とのふれあい
3. 住民の生きがい、健康づくり

★多彩な催し物を揃えてお待ちしております



■お譲りください

デイサービスセンターいずみでは、カラオケセットを集めています。

ご家庭や民宿で使用していないカラオケセットのご寄付をしていただける方はご連絡ください。職員がご自宅までお伺いします。

デイサービスセンターいずみ 0770-45-2837

担 当：西 川

やさしさをありがとうございました

平成22年6月1日から平成22年9月30日までに「社会福祉事業に役立てて下さい」と下記の方々よりご寄付をいただきました。

福祉基金				(敬称略・順不同)			
福祉基金				物品預託			
遊 子 濱本 一夫	200,000円	昭和14年		向 笠 橋詰 健一郎	簡易ベッド		
白 屋 中村 清則	100,000円	鳥羽小学校卒業クラス会	229,109円	相 田 藤原 平夫	食材		
気 山 高畑 正	200,000円	若狭地区保護司会		相 田 藤原 イト	業務用掃除機		
鳥 浜 吉田 良三	100,000円	若狭西地区更生保護女性会	30,000円	藤 井 常田 茂	タオル		
鳥 浜 小堀 孝	200,000円	若狭東地区更生保護女性会		新 道 窪田 信行	食材		
三 方 鳥居 すみ子	100,000円	匿名	30,000円	大鳥羽 森下 歌子	食材		
瓜 生 桜本 志江(俗名)	100,000円	匿名	50,000円	三 田 北川 宗左	介護用品		
三 田 佐野 和彦	100,000円	匿名	100,000円	海 山 田辺 勉	電動ベッド		
有 田 田中 明宏	200,000円			熊 川 尾中 トヨ	雑巾		
向 笠 中西 吉太夫	100,000円			婦人福祉協議会	タオル・石鹸		
瓜 生 松宮 秋子	100,000円			匿名	介護用品		
三生野 西川 正展	50,000円			匿名	石鹸		
上 瀬 玉井 とし子(俗名)	100,000円			匿名	介護用品		
東黒田 吉田 浩之	100,000円			匿名	米		

預託や寄付いただいた物品は、地域や若狭町社会福祉協議会にて有効に使わせていただきます。上記以外にも多くの方々より、使用済み切手やエコキャップ等のご寄付をいただきました。